

2024 年度決算について

2025 年 4 月 30 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、燃料価格の低下等により、燃料費等調整額が減少したことなどにより、前年度比 1,079 億円減の 6 兆 8,103 億円となりました。

経常損益は、主に燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年度比 1,710 億円減の 2,544 億円の利益となりました。

また、特別利益に原賠・廃炉等支援機構資金交付金 873 億円を計上した一方、特別損失に、原子力損害賠償費 803 億円、災害特別損失 626 億円を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損益は 1,612 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	比較	
			A-B	A/B (%)
売上高	68,103	69,183	△ 1,079	98.4
営業損益	2,344	2,788	△ 444	84.1
経常損益	2,544	4,255	△ 1,710	59.8
特別損益	△ 557	△ 1,231	674	—
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,612	2,678	△ 1,065	60.2

【セグメント別の経常損益】

2024 年度のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、特別負担金が減少したことなどにより、前年度比 764 億円増の 507 億円の損失となりました。
- 東京電力フュエル&パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年度比 1,171 億円減の 577 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用や修繕費が増加したことなどにより、前年度比 1,018 億円減の 549 億円の利益となりました。

- 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響が悪化したことなどにより、前年度比 382 億円減の 2,879 億円の利益となりました。
- 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、修繕費が増加した一方、卸電力販売が増加したことなどにより、前年度比 84 億円増の 536 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	比 較	
			A-B	A/B (%)
経 常 損 益	2,544	4,255	△ 1,710	59.8
東京電力ホールディングス	△ 507	△ 1,271	764	—
東京電力フュエル&パワー	577	1,749	△ 1,171	33.0
東京電力パワーグリッド	549	1,567	△ 1,018	35.0
東京電力エナジーパートナー	2,879	3,261	△ 382	88.3
東京電力リニューアブルパワー	536	451	84	118.8

【2025 年度業績予想】

2025 年度の業績予想については、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働時期を見通せないことから、現時点で未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以 上

添付資料

- ・ [決算概要](#)

参考資料

- ・ [2024 年度における経営効率化の実施状況](#)

- ・ 「決算短信等」については [こちら](#) をご覧ください。
- ・ 「特別損益の計上に関するお知らせ」については [こちら](#) をご覧ください。